

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成28年3月31日

計画の名称	7 折尾駅周辺地区における魅力あるまちづくりを支援するための道づくり		
計画の期間	平成21年度 ～ 平成25年度 (5年間)	交付対象	北九州市
計画の目標			

鉄道連続立体交差事業に伴い、街路の4車線化や駅南側の土地区画整理を実施することで、J R折尾駅周辺地域の快適かつ利便性を高め、魅力あるまちづくりを支援する。

計画の成果目標 (定量的指標)	交通渋滞の解消及び交通結節機能の強化、さらには、北九州市の西部地域の都市拠点として魅力あるまちづくりに向け、区画整理事業と並行しながら、鉄道の立体交差化、街路事業の4車線化及び北口駅前広場の整備を一体的にすることで、快適かつ利便性の高い市民生活を確保することが期待される。		
-----------------	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値	中間目標値	最終目標値							
① H26末筑豊本線立高架化・完了により始めて効果が発現することから、H31末の完成に向けた事業の進捗率を評価指標とした。 (事業進捗率) = { (Σ年度別事業費) / (全体事業費) }	(H21当初) 進捗率18%	(H23末) 短絡線高架化 進捗率39%	(H25末) 進捗率55%	踏切自動車・歩行者等交通遮断量 18.1万人台・時/日 (H21当初) H26末筑豊本線高架化・完了 H28末鹿児島本線高架化・完了						
② 連続立体化に伴う踏切除去で(H27年度)、一日あたりの踏切自動車・歩行者交通遮断量が削減される割合。 (削減率) = { 1 - (事業後踏切自動車・歩行者交通量) / (現況踏切自動車・歩行者交通量) }	(H21当初) 181,393人台・時間/日 削減率0%	(H25末) 181,393人台・時間/日 削減率0%	(H27末) 57,646人台・時間/日 削減率68%	H31末完成						
③ 駅周辺街路及び駅前広場整備によるJ R折尾駅と周辺主要4交差点との移動利便性向上を平均旅行速度の向上により表現する。 (H25年度) 折尾四丁目交差点の改良 (H27年度) 駅前広場の整備	(H21当初) 34.5分/10.8km 18.8km/h	(H25末) 33.5分/10.8km 19.3km/h	(H27末) 31.1分/10.8km 20.9km/h							
全体事業費	合計 (A+B+C)	3,378 百万円	A	3,378 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

事後評価 (中間評価)

○事後評価 (中間評価) の実施体制、実施時期	
事後評価 (中間評価) の実施体制	事後評価 (中間評価) の実施時期
「新折尾駅周辺整備検討会」委員6名より、成果目標の確認等を行い意見聴取を行った。	当該計画の期間終了後 (平成28年3月)
	公表の方法
	本市のホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H21	H22	H23	H24	H25		
7-A1	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	改築	日吉台光明線	道路改築 L=1.5km	北九州市						1,744	
7-A2	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	改築	乙丸折尾線	道路改築 L=0.5km	北九州市						423	
7-A3	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	改築	日吉台光明線 (駅前広場)	駅前広場整備 A=9800㎡	北九州市						529	
7-A4	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	区画	改築	折尾地区 ( (都) 折尾東西線外)	土地区画整理 A=16.9ha	北九州市						650	
7-A5	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	区画	改築	折尾地区 ( (都) 折尾駅南口線)	土地区画整理 A=16.9ha	北九州市						32	
合計																3,378	
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H21	H22	H23	H24	H25			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
										H21	H22	H23	H24	H25		
										合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				
その他関連する事業																
計画等の名称 折尾駅周辺地区における連続立体交差事業の推進による活力あるまちづくり																
事業種別		交付対象				要素となる事業名		市町村名			全体事業費(百万円)	備考				
4-A1	街路	北九州市				折尾駅周辺(JR筑豊本線・鹿児島本線)		北九州市			2,036					
4-A2	街路	北九州市				折尾駅周辺(JR筑豊本線・鹿児島本線)		北九州市			5,544					
										合計		7,580				

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況										
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況				<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業に着実に取り組んできたものの、北口暫定駅前広場や仮駅舎整備に必要な用地の取得に時間を要し、平成25年度にやむなく事業期間の見直し(3年延伸)を行うなど、当初計画どおり事業進捗を図ることができなかった。</li> <li>・しかしながら、連続立体交差事業における盛土部の高架工事やトンネル部の工事、街路事業(土地区画整理事業を含む)における用地取得などを着実に実施してきたことにより、連続立体交差事業では平成25年度から駅周辺の高架工事に本格的に着手し、また、街路事業では連続立体交差事業の進捗に合わせた事業推進が可能となった。</li> </ul>						
II 定量的指標の達成状況		指標①(事業進捗率)	最終目標値	(H25末) 55%	目標値と実績値に差が出た要因	事業に着実に取り組んできたものの、北口暫定駅前広場や仮駅舎整備に必要な用地の取得に時間を要したため、当初計画どおり事業進捗を図ることができなかった。				
			最終実績値	(H25末) 39%						
		指標②(踏切交通遮断量が削減される割合)	最終目標値	(H25末) 181,393人台・時間/日 0%	目標値と実績値に差が出た要因					
			最終実績値	(H25末) 181,393人台・時間/日 0%						
		指標③(平均旅行速度の向上)	最終目標値	(H25末) 33.5分/10.8km 19.3km/h	目標値と実績値に差が出た要因	事業に着実に取り組んできたものの、北口暫定駅前広場や仮駅舎整備に必要な用地の取得に時間を要したため、当初計画どおり事業進捗を図ることができなかった。				
			最終実績値	(H25末) 34.5分/10.8km 18.8km/h						
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)										
3. 特記事項(今後の方針等)										
<p>連続立体交差事業、街路事業、土地区画整理事業を一体的に実施する折尾地区総合整備事業については、事業が長期にわたるため、駅周辺の開発や活性化に向けたまちづくりを進めていくことが重要である。そのため、今後も引き続き、一日も早い完成を目指して折尾地区総合整備事業を着実に進めていく。</p>										

(様式第8)

# 社会資本総合整備計画 参考図面

